

平成22年度

社会福祉振興助成事業

事業報告会・相談会



平成22年11月29日（月）福岡県中小企業振興センター（福岡市）

主催  独立行政法人 福祉医療機構

協力 社会福祉法人 福岡県社会福祉協議会

## 開催にあたって

独立行政法人福祉医療機構が実施する社会福祉振興助成事業では、政策動向や国民ニーズを踏まえ、NPOや非営利任意団体等、民間の創意工夫ある活動や地域に密着したきめ細かな活動等に対して助成を行い、高齢者・障害者が自立した生活を送れるよう、また、子どもたちが健やかに安心して成長できるよう必要な支援等を行っています。

また、国や地方公共団体などが行う公的な福祉サービスでは十分カバーすることができないニーズに対応するNPO、非営利任意団体等が行う草の根的な活動に助成し、団体とその活動を育成・支援するとともに、当機構が適切な情報提供、助言等の働きかけを行うことによって、NPO、非営利任意団体等が地域の福祉医療等の機関・団体等と連携を深め、団体間の繋がりが醸成されることにより、事業そのものの広がりが見られるよう支援しています。

そのような取組みの一環として、助成金によって実施された事業の中から、優れた事業について、事業の効果や活動のノウハウ等を、同様な活動を行う団体等に広く紹介、情報提供していくことが、資金面での支援とともに重要であると考えています。

本日は、ふくおかNPOセンター 理事長 古賀 桃子 氏をお招きし、基調講演をいただくとともに、過去に当機構からの助成を受けて事業を実施された団体の中から、地域の実情に即したきめ細かな事業を実施して成果をあげている2つの団体に活動報告していただくことにしております。

本事業報告会が、福祉活動を実施する団体のさらなる活性化や情報の共有化、組織力の強化等に少しでもお役に立つ機会となれば幸いです。

独立行政法人福祉医療機構

## 目 次

○プログラム	..... P	1
○開 会	..... P	2
○基調講演		
「助成金の活かし方」～地域社会で求められる役割と課題～		
特定非営利活動法人 ふくおかNPOセンター		
理事長 古賀桃子氏	... P	3
○活動報告（1）「劇団『ひしレンジャー』地域とともに生きる事業」		
みすゞの会 事務局長 上之園睦子氏	... P	7
○活動報告（2）「子育て支援『ハートフルスペース』事業」		
子育てボランティア「ハートフル」		
代表 鶴原伸子氏	... P	18
○パネルディスカッション	..... P	43
○社会福祉振興助成事業の概要説明		
平成22年度助成事業の紹介	..... P	44

# プログラム

13:00～13:10	<b>開会</b> 主催者あいさつ 長野 洋 (独立行政法人福祉医療機構 理事長)
13:10～14:10	<b>基調講演</b> 「助成金の活かし方」～地域社会で求められる役割と課題～ 特定非営利活動法人ふくおかNPOセンター 理事長 古賀桃子 氏
～ 休憩 ～	
14:20～15:00	<b>活動報告</b> (1) みすゞの会 (福岡県大木町) 事務局長 上之菌 睦子 氏 「劇団『ひしレンジャー』地域とともに生きる事業」 (平成 20 年度・子育て支援)  (2) 子育てボランティア「ハートフル」(福岡県芦屋町) 代表 鶴原 伸子 氏 「子育て支援『ハートフル・スペース』事業」 (平成 20 年度・子育て支援)
15:00～15:20	<b>パネルディスカッション</b>
15:20～16:00	◆ 社会福祉振興助成事業の概要説明 ◆ 平成 22 年度助成事業の紹介
16:00～16:30	<b>閉会</b> 社会福祉振興助成事業 個別相談 ※希望者のみ

## 基調講演

### 「助成金の活かし方」～地域社会で求められる役割と課題～

特定非営利活動法人 ふくおかNPOセンター

理事長 古賀 桃子 氏

---

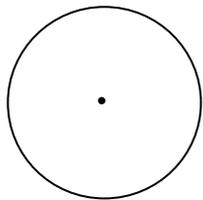
#### 1 NPOにおける資金源の多様性

- 主に、6種類

・  
・  
・  
・  
・

- 提供者が多様
- 対価性～非対価性
- 自立性～依存性

#### 2 「自立した組織」って？



#### 3 NPOの資金にまつわる、今日的傾向

- 補助や助成・・・「公募～公開審査～成果報告」が主流
- 寄附を促す仕組み・・・認定NPO法人制度、ファンド（基金）等
- 市民が市民を支える資金的仕組み・・・NPOバンク、市民バンク・・・

#### 4 NPOの資金の留意点

- “自主財源～依存財源”のバランス
- 資金源の種類によって、調達方法が異なる

## 5 古今東西助成金（+補助金）事情

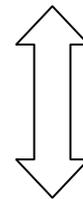
- 事業助成（×運営） ～ 運営面も考慮した助成
- 先駆的な取り組み ～ 対応的な取り組み
- 資金的支援のみ ～ 力量形成のためのコンサルテーションも

## 6 助成金へのアプローチのコツ ～思いを伝える申請編～

- 企画力 （“6W3H”を明確に）
- 事実情報 （背景データ等で客観性と訴求力を）
- 「目的」「目標」（output～outcome / 具体的×可視的に）
- 真摯さ （積算根拠はバロメーター）
- メディア掲載例 （事業&組織の信頼性の裏打ちに）

## 7 助成金へのアプローチのコツ ～成果を伝える&つなぐ報告編

- やって良かったと思われる点（主観的）
- 課題として残ったと思われる点（主観的）
- 成果目標・状態目標への達成度（主観的+客観的）
- 第三者の声（客観的）
- 変化や影響の推移（客観的）
- メディア掲載例（客観的）
- 視覚素材（上記の諸々を、よりリアルに）



## 活動報告（１）

### 「劇団『ひしレンジャー』地域とともに生きる事業」

みすゞの会 事務局長 上之蘭 睦子 氏

---

#### みすゞの活動

☆平成13年11月発足

障がい児の親とそうでない人達とで、障がいがあってもなくても共に助け合い、地元根差した活動をする事を目的に結成

☆大木町サマースクールの企画・運営

- ・障がい児の夏期休暇の居場所作り
- ・親の負担軽減
- ・“地元子どもたちとの仲間作り”を目的に夏休みのうち12～13日間を町の施設を借りて、大木町在住の障がい児(会員外の子ども)17年度から開催。

☆寸劇「ひしレンジャー」の演劇練習

障がい児でも社会の役に立てることができることを子どもたち自身に自覚してもらうことを主たる目的として20年度からオリジナルストーリーとオリジナルソング自作の衣装で寸劇をはじめました。

☆寸劇「ひしレンジャー」による施設訪問

町内5ヶ所、近隣の市の施設5ヶ所で寸劇「ひしレンジャー」を披露。施設の方々からの拍手や掛け声にお互い励まし、励まされています。

☆町での諸々の行事に積極的に参加しバザーやみすゞの会のPRを行っている。

☆みすゞの会が主催となって年1,2回の障がい児・者についてのミニ勉強会、及び障がい者スポーツ会などを開いている。ここでは、障がい児だけではなく、三潞郡の精神障害者の団体「わかばの会」や町の身体障害者連絡協議会とも連携して行っている。

☆九州大谷短期大学とも連携をとり、学園祭などにも参加している。

# 寸劇「ひしレンジャー」地域とともに生きる 大木町 みすゞの会



平成20年度(独)医療機構助成

# みすゞの会の立ち上がり

- 昭和54年以降、大木町ではほとんどの障がい児が地元の学校に行っていなかった。
- 平成10年・平成11年 町立の保育所にダウン症児・肢体不自由児の子どもが入るのに町と何回も真剣な話し合いが行われた。  
→無事入所
- 町立保育所での生活で、健常と障がい児が共に学ぶことを応援する人がいることを確認

- 平成14年度の小学校入学に向けて、共に学ぶこと希望する保護者が親以外にもいることをアピールするために“みすゞの会”を結成
- “みんなちがって、みんないい”を合言葉に3人の障がい児と27人の協力者で活動開始
- 特別支援学級を設けることで地元の学校に無事入学
- **ともに生きることをひとつ実現**

# 平成17年よりサマースクール開始

- 平成16年、町民のひとりが町に夏季長期間中の障がい児のケアについて要望
- 町が“みすゞの会”に対応を依頼
- 平成16年度は、近隣のサマースクールを視察後、3日間“みすゞの会”のみで試み
- 平成17年度より全町民を対象にサマースクール開始

17年・18年度はみすゞの会単独費用で実施

19年度から半額町助成

# サマースクールの目的

- 障がい児の居場所づくり  
→町の施設を利用、40日のうち12,13日開催
- 親の負担軽減  
→利用料1回500円(送迎のみ保護者)
- 近所の子ども同士の仲間づくり  
障がい児だけではなく、その子どもの近状の子どもも一緒に参加→ともに生きる

# 子どもたちに何ができるか？

- 調理

→カレー、サンドイッチ、クリスマスケーキ等

- 障がい児・者スポーツ

→福岡県障害者スポーツ協会から指導

- 歌、手話の歌、ハンドベル

→「負けないで」、「大きな古時計」、等

- 寸劇

→「大きなかぶ」

これなら、子どもたちが自分のやりがいを持ってやれりと確信

→大木町独自の町の人々に残るものをやろう！

# 寸劇「ひしレンジャー」誕生

- 4年前に町の人が“大木まつり”で作っていたキャラクターをいただいた
- 服装、ストーリー、曲はオリジナルをみんなで考えた

# 会員以外の人との協力

- 人事発掘

- ストーリーを考える前に大木町のことをいろいろ調べた・・・農業、昔のならわしなど

- いろいろな物を作ったり、調達するのに人から人へ紹介してもらった

- 人脈づくり

- 町のいろいろな人を紹介していただくうちにだんだん知り合いの輪が広がっていった

- 私は歌やハンドベルの指導をしてきました。初めはとても不安で私に務まるだろうかと心配していましたが、子どもたちは毎回一生懸命に練習に励んでくれて、その上達ぶりには驚かされました。時には脱線することもありましたが、これからも子どもたちの頑張りを皆さんに披露できる機会が増えればと思います。  
音楽指導：荒巻

- 筆を握りしめ、心のままに画用紙に描いていた君たちが、今「ひしレンジャー」のヒーローとなって舞台いっぱい演技を表現する。そんな君たちを片隅から応援しています。一緒に参加できて幸福です。  
美術担当：中島

# 中学生・高校生のかかわり

- 保健室通いだった中学生がボランティアとして参加
  - サマースクールに参加した後、自分に自信をもってくれた
- 高校生が部活の合間をぬって自転車で通ってくれた
  - 将来の仕事として考えて進んでいる
  - 私たち“みすゞの会”の仲間にも大きな充実感とこれからの励みになった

# 町の人々へのアピール

- 大木まつりなどへの出演、また町内外の特養やグループホームグループホームなど老人施設出演依頼をして訪問することができ、“みすゞの会”「ひしレンジャー」の知名度が上がった
  - 施設から度々出演依頼が来るようになった
  - いろいろなイベントや事業など、障がい者の団体として“みすゞの会”が出るようになった
- 行政への位置づけがはっきりできた

# 障がい児の自信

- 「ひしレンジャー」での役割を十分に認識
  - 今まで人前に出ることができなかったことができるようになった
  - 日常生活の中でも今、自分が何をするときかを理解し動くことができるようになった
  - 協調性が出てきた
  - 他人とのコミュニケーションができるようになった(自閉症児)
  - 自分から積極的にかかわることができるようになった

- 新しい仲間との出会い
  - 昨年・今年と新しい仲間ができ、親同士・子ども同士の輪が広がった
  - 町外からの出演依頼も出てきた
  - 町外の障がい児団体との交流機会が増え、会員みんなが多くのことを勉強できている
- 町を動かした
  - 大木町で障がい児の預かり制度が始まる

# 衣装作り



みんなで作った



# 大木まつりで初披露



# 久留米ボランティア フェスティバル



# グループホーム「ほのぼの」



# グループホーム「幸」



# 特養「いちご」



## 特養敬和園



# 子どもたちのパワー



## 活動報告（2）

### 「子育て支援『ハートフルスペース』事業」

子育てボランティア「ハートフル」 代表 鶴原 伸子 氏

---

1 ボランティアを始めたきっかけ

2 助成事業

3 助成事業後の活動

4 今後の活動

## 子育てボランティア「ハートフル」活動経過

---

- 2002年 芦屋町の子育て支援に関するアンケート調査実施  
(グリーンコープ生協基金助成)  
町へ調査報告書と共に「子育て支援充実のための要望書」提出
- 2003年 「梅原司平チャリティーコンサート」実行委員会に参加し、収益金をペ  
シャワール会へ寄付
- 2005年 月1回程度、町内在住の子育て中の親子と日頃の悩みや不安などを話す  
為の「おしゃべり会」実施
- 2006年 平成18年度ほっと子育てふれあいセンター・基本研修会  
(北九州市主催)に参加
- 2006年 9月～2007年1月「子育て・親育ちリレーセミナー」  
(福岡県地域福祉財団の助成)開催
- 2007年 「北九州地区子育てネットワーク交流会」(北九州教育事務所主催)に  
実行委員として参加
- 2008年 同上
- 2008年4月～2009年3月  
独立行政法人福祉医療機構「長寿・子育て・障害者基金」助成により、  
芦屋町商店街空き店舗にて、子育てフリースペース「にこりん」を開設  
子育てフリースペース(週3回)、講演会、コンサート、  
フリーマーケット他イベント開催
- 2009年2月 住友生命「未来を築く子育てプロジェクト」未来賞受賞  
賞金50万円授与

2009年4月～2010年3月 子育てフリースペース「にこりん」継続  
(2010年4月 芦屋町子育て支援センター「たんぽぽ」開設(行政運営))

2010年5月 芦屋町ボランティア活動センターにて、月1回「手作りの会」  
(託児付き)開催

7月 ボランティア活動センターフリーマーケット参加～収益を宮崎県  
口蹄疫被害支援に寄付

9月～10月 ボランティア活動センターにて、子育て中の親子と町の人  
との出会いの場として、「ハートフル・おしゃべりカフェ」開  
催(4回)現在に至る

## 1. 事業概要

### 1) はじめに

子育てボランティア「ハートフル」は、2002年「芦屋町における子育てアンケート調査」(20才代～80才代の男・女約700人対象)を行い、その結果から乳幼児を持つ若いお母さん達が、自分の子育てに不安を抱きながらも、誰にも相談できずに過ごしている様子や、子育てを終えた世代の中には「若い人たちを支援する場がない」という思いがある事が分かり、相互をつなぐ施設として、「子育て支援センター」の早期実現を町へ要望してきました。

その間、「子育ておしゃべり会」や、06年9月～07年1月には、5回の連続セミナーを開催し、将来は「子育てフリースペース」や「子育てサロン」など若いお母さん達の中から、企画を立て、会を運営していける人材を育成していけることを願ってきました。そんな中2008年3月、「独立行政法人 福祉医療機構の長寿・子育て・障害者基金」の助成申請が採用され、商店街の空き店舗で、フリースペース「にこりん」を開設することとなりました。ここに、その1年間の活動を報告いたします。

### 2) 子育てフリースペース「にこりん」の目的と運営

乳幼児の子育て支援を目的に、毎回、2名～3名のサポーターが準備・サポート・後片付けをします。「にこりん」には親子で参加し、親同士の出会いの場・学びの場、情報交換の場であり、育児疲れを解消する場でもあります。利用者は出入り自由で、参加費は無料です。開催日時は、毎週 月・水・金曜日の(祝祭日を除く)10:00～13:00(ただし、冬期は10:30～13:30)で、ランチタイムとして、12:00～12:45には各自持参したお弁当を食べることができます。

### 3) 「にこりん」の参加状況および参加者の様子

今年度の開催日数は110日、参加者は延べ1,466人(大人769人、子ども697人)あ

りました。(詳しくは、別項の参加状況表を参照ください)

参加者の様子は、スペースが狭いので、10組程度が限界で4～6組くらいが適当なようでした。はじめて参加された日に、あまり人が多いと、「圧倒されるような感じ」をもたれた方もあって、その後来られなかったり、逆に2組程度で少ない日の方が、「ゆっくり話ができ良かった」などで、次からも来られる傾向にありました。

子どもさんは回数が増すごとに慣れて、少しづつうまく遊べるようになっていきます。お母さん方はお互い情報交換されたり、サポーターの体験談を聞いたりしながら楽しくすごされています。ランチタイムについては、殆どの公共施設が飲食禁止の中、ピクニック気分で食事できると好評です。

日々のスペースの中では、特にイベントは考えていませんが、お母さん方が、自主的に絵本を読んでくださったり、親子遊びを教えて下さるなど自由なふんいきで楽しんでおられます。

### 4) 「にこりんサポーター」・「にこりんワーカー」について

「にこりんサポーター」については、サポーター研修後、独自で「サポーター心得」を作成し(別ページ参照)、当初はハートフルのメンバーと、この間の「おしゃべり会」「リレーセミナー」の参加者の中から有志13名で「ハートフル・スペース運営委員会」を立ち上げました。子育てを終えた世代だけでなく、子ども連れの方や町外者も3名います。

毎月の定例会でローテーションを組んで、1日2~3名体制で関わっています。

その後、にこりんへの参加者の中から、保育士・幼稚園教諭経験者や看護師の資格を持つお母さんたちが登録され、現在20名になりました。

「にこりんワーカー」とは、「にこりん」を応援する人たちの人財登録制度で、あらかじめ、資格を持っている人や、特技・やる気のある人に登録していただき、必要なときに支援を依頼する制度です(弁当代支給)。また登録者が自ら企画し提案することもでき、豊かな子育て支援をめざすと共に、女性の働く場やワークシェアリングを考えていくための、試みでもあります。まだ、試験的に始めたところですが、今後も可能な限りいろんな人が、活躍できるように検討していきたいと思っています。

#### 5) 講演会及び講座・イベントの開催について

「にこりん」の開催以外に、子育て・親育ちのためのイベントを開催しました。

##### ①5月7日~サポーター研修

(講師)宮崎由紀氏(グリーンコープ生協子育てサポートワーカーズ「ぐんぐん」)  
江口芙美江氏(同上、代表者)

(場所)にこりん(対象)にこりんサポーター(参加者13人)

##### ②7月10日~学習会「発達障害児の支援」

(講師)室山隆行氏・(ボランティアグループ・渚の会 代表)

(場所)にこりん(対象)未就園児の親子(参加者大人16人、子ども6人)

##### ③7月10日~講演会「乳幼児期の家庭教育」&試食会

(講師)清水民子氏・(保護司 NPO法人ヒューマンネット「大地の翼」代表)

(場所)にこりん(対象)未就園児の親子(参加者大人23人、子ども9人)

##### ④8月24日~ふれあいコンサート・リコーダー演奏・講演会

(講師)原田大裕氏(リコーダー奏者)

(場所)芦屋東公民館(参加者大人34人、子ども19人)

##### ⑤9月17日~デジカメ教室

(講師)松浦カメラ

(場所)にこりん(参加者6親子)

##### ⑥12月3日~講座「免疫力をつけて風邪をひかない方法」

(講師)宇野紀子氏(パーソナルサポーター)

(場所)にこりん(参加者6親子)

##### ⑦12月9日~託児付き講演会「うちの子最高」&人形劇他

(講師)熊丸みつ子氏(福岡県子育てアドバイザー・福岡県家庭教育推進委員)

(公演グループ)北九州子ども劇場・人形劇同好会「にっこり」

(場所)山鹿公民館(参加者大人26人・子ども14人)

##### ⑧12月18日~託児付き講演会「ひまわり先生の幸せの貯金箱」

(講師)米倉けいこ氏(NPO法人再決断カウンセリングジャパン理事)

(場所)山鹿公民館(参加者大人21人・子ども7人)

⑨2009年1月29日～講座「フットマッサージで元気に」  
（講師）宇野紀子氏（パーソナルサポーター）  
（場所）にこりん（参加者10親子）

⑩3月12日～講座「交流分析」  
（講師）宇野紀子氏（パーソナルサポーター）  
（場所）にこりん（参加者12人）

⑪3月19日～託児付き講演会「おもちゃの子育て知恵袋～おもちゃで遊ぼう」  
（講師）芳野紀子氏（からすのほんや 主宰者）  
（場所）山鹿公民館（参加者大人18人・子ども11人）

#### 6) アンケート調査

合計7回のアンケート調査を行いました。特に、「子育て支援センター」については、  
①建物について、②運営について、③センターが出来ることによって期待することについて調査し、2009年3月6日に町の福祉課へ提出しました。（別ページ参照）

#### 7) ニュースレターの発行

2008年8月、12月の2回発行しました。（別ページ参照）

#### 8) 朗読テープの作成

視覚障害のある方や目の見えづらい方のための朗読テープづくりを目的に「ボイス・レター愛好会」を立ち上げました。今回は社会福祉協議会発行の「ふれあいVol.88」の朗読CDを作成しました。6月に遠賀町の朗読ボランティア「結いの会」の指導の下、研修を受け、分担してテープに吹き込み、最終的にCDに編集しました。09年3月発行の「ふれあいVol.89」で案内を掲載していただきました。はじめての録音なのでノイズが入ったり音量にばらつきがあるなど不十分ではありましたが、今後はレパートリーを増やし、やさしい温もりの伝わる「ボイス・レター」を作っていきたいと思っています。

#### 9) まとめ

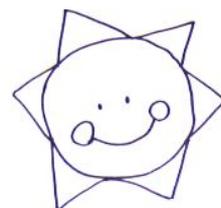
1年間の事業を終え、「にこりん」が予想以上に喜ばれ利用があったことで、「集いの場」の必要性をあらためて痛感しました。町内に親子で気軽に集える場があることで、子どもたちはもちろんのこと、若いお母さんたち、子育てを終えた世代の人たちが共に交流し、学びあい、つながり、成長することが出来ました。これも、共に考え、支援、協力してくださった、たくさんの町内外の皆様のおかげと感謝の気持ちでいっぱいです。本来は、1年間の予定で始めた「にこりん」でしたが、利用者のお母さんたちの要望もあり、カンパとボランティアで、後1年間継続することになりました。

2010年4月には町の「子育て支援センター」の設置が予定されています。住民と行政が協働で、芦屋町を子育てしやすい町にしていけるよう今後も活動していきたいと思っています。

2009年3月31日

子育てボランティア「ハートフル」  
代表 鶴原 伸子  
遠賀郡芦屋町山鹿 1540-8  
(Tel/Fax 093-222-1102)

## 2. 子育てフリースペース「にこりん」活動報告



2008年

3月27日 独立行政法人福祉医療機構より助成採用の通知

3月28日 不動産会社相談

4月1日 不動産契約

4月3日 第1回運営委員会

4月4日 電気工事

4月8日～4月26日 「にこりん」内装工事及び  
壁面などの飾りつけ

4月10日 会計予算打ち合わせ

4月23日 第2回運営委員会

4月24日 エアコン購入

4月28日 独立行政法人福祉医療機構 交付申請書・事業資金計画書送付

2008年4月

「にこりん」は、子ども  
たちでも呼びやすいよう  
にと、名付けました！



0からのスタートです！



作業中のママも安心！子守りは任せて！



ママたちのてづくりで、フリースペースが完成！！



サポーター母子合作の壁面飾り、かわいい！



カーテンも手縫い



トイレも安全に、可愛く！



大工仕事もお母さんで！注文設計・ぴったりサイズ



- 5月 1日 エアコン取り付け
- 5月 2日 保険説明・加入
- 5月 7日 サポーター研修
- 5月12日 町、教育委員会、商工会、社会福祉協議会后援依頼
- 5月14日 町長会見
- 5月16日 棚、机、ベンチ作成
- 5月19日 役員会
- 5月20日 飾りつけ、おもちゃについての話し合い
- 5月21日 第3回運営委員会
- 5月26日 子育てフリースペース「にこりん」オープン



にこりんは、  
毎週月・水・金  
10:00～13:00



パパの託児、うれし～いな！



サポーター研修

にこりん いよいよオープン！！



フリースペースのオープンのお知らせと、町の子育て支援の必要性を町長にアピール



5月26日のオープニングイベント、育休中の保育士さんによる読み聞かせ・親子あそび



表のガラス面も明るく・かわいく！



2年前のリレーセミナー講師の野口真理子先生より、お祝いが届いて、感激！！



ベビーベッドも活躍

- 6月 3日 役員会
- 6月 5日 朗読研修
- 6月 18日 室山隆行氏（発達障害児の支援活動）のお話
- 6月 19日 第4回運営委員会



リレーセミナーで講師を務めて下さった、八朔の馬づくりの井上和代さんが立ち寄って下さり、野の草花あそびを教えてくださいました



もりもり、パクパク、みんな一緒にお昼ごはん



発達障害児の支援をされている北九州の室山隆行さんのお話を聞く

### 朗読研修



遠賀町「結の会」の谷口さんより、指導を受ける。想像以上に本格的！社協だより「ふれあい」の朗読CD作成中



わたしたちのお城



視覚障がい者や目の見えづらい方のための朗読テープづくりに挑戦！「ボイス・レター愛好会」を結成

7月1日～7月11日 七夕かざり

7月10日 清水民子氏講演会「乳幼児期の家庭教育～親同士のコミュニケーションのとり方」  
<参加者：32人>（場所 にこりん）＊にこりん利用者アンケートNo1

7月16日 役員会

7月17日 第5回運営委員会



夏も「にこりん」で、快適に！



みんなの願いが、お星さまに届くとイイナ！



清水先生の講演会の様子



お昼はお弁当を作って下さった地域の福田節子さんより、食材と子どもの心の成長について語っていただいた

にこりん mini 講座「乳幼児期の家庭教育」(日誌より)

7月10日(木) 10:00～13:00 晴れ

参加者 大人 23名 子ども 9名 計 32名

講師 清水民子氏(保護司・NPO法人「大地の翼」代表)

昼食は「食育」、地元産の魚、野菜、玄米の黒豆ごはん

<本日の様子>

- ・ スペースの奥に先生のテーブルを用意し、先生を囲むように母子で座って話をきいてもらった。1時間強のお話の間、いつもと違うスペースの様子(おもちゃも数種類のみ、出入り口付近に設置)とお母さん達の学ぼうとする様子を乳幼児なりに察知したようで、普段はしゃぎまわる子ども達がほとんどの時間、お母さんのひざの上で落ち着いて参加していた。

<気づいたこと、困ったこと>

- ・ 狭いスペースの中、母子いっしょの初めての講座で、しかも予定以上の人数での開催だったので、心配もあったが、落ち着いた子どもたちの様子に感動させてもらった。「子ども達にとっても、こういった体験を小さいうちから味わっていくことは、大切なことですよね」と清水先生も感心されているようだった。

8月1日～ ニュースレターNo1 配布  
 8月7日 空きスペース利用 (夏休み親子あそび)  
 8月8日 役員会  
 8月11日～15日 お盆休み  
 8月22日 第6回運営委員会  
 8月24日 にこりんふれあいコンサート



ふれあいコンサート 原田大裕氏リコーダー演奏・講演会

テーマ「生きることをあきらめないで！ リコーダーを通して、人にも地球にもやさしく

にこりんコンサート「リコーダー演奏・講演会」(日誌より)

8月24日(日) 10:00～12:00 晴れ

参加者：大人34名 子ども19名 計53名

講師：原田大裕氏(リコーダー奏者・REB ネット代表)

場所：東公民館 交流会：「にこりん」にて

<本日の様子>

朝から大勢で会場作り。プロジェクターの使い方がうまくいかず、室山さんに頼み手伝ってもらった。有り難かった。

<気づいたこと、困ったこと(スタッフとして)>

お知らせ事項が多すぎると注意(アンケート中)があった。感動が(余韻が)うすれてしまったのであれば申し訳ないが…。

<その他>

交流会での原田さんのお母さまのお話が心にしみた。「子どもたちは無限の可能性をもっているから信じて、あせらず育てて欲しい」など自分を励ましながら、子どもさんを支えてこられたことなど…。



中国からの留学生もサポーターとして活躍。中国の手遊び歌を教えてもらった。



お絵かきコーナ

- 9月 3日 にこりん子育て相談日 (芦屋町健康対策課の保健士・栄養士による)
- 9月 4日・6日 壁面かざりつけ
- 9月 9日 空きスペース活用(米倉けいこ氏「ひまわり先生の幸せの貯金箱」出版記念)
- 9月 17日 役員会
- 9月 17日 「デジカメ教室」～講師：松浦カメラ(場所 にこりん)
- 独立行政法人福祉医療機構助成事業 進捗状況等調査票提出
- 9月 18日 第7回運営委員会
- 9月 25日 朗読テープ作成会議
- 9月 28日 住友生命「未来を築く子育てプロジェクト」申請



「産まりましたあ〜！」初見せ！！



ペシャワール会の号外を皆で聴いているところ

毎月第1水曜は、「子育て相談日」です。町の健康対策課の保健士さんと栄養士さんが来られて、気軽に話ができます。



ピヨピヨ ポッポ〜！

空きスペースの利用



米倉先生の講演会  
子ども達も勉強しているママの横で  
とってもおもしろかったです。



米倉先生の講演会に参加された、  
リコーダーの原田さんの即興ミニコンサート！

- 10月1日 町長会見（子育て支援センターの開設について）
- 10月1日 子育て相談日（芦屋町健康対策課の保健士・栄養士による）
- 10月2日 役員会
- 10月7日 空きスペース利用「親子アロマ・マッサージ（フットマッサージ）」
- 10月9日 第8回運営委員会
- 10月14日 空きスペース利用「親子アロマ・マッサージ（ハンドマッサージ）」



トイレも秋模様



サポーター手づくりのこだわり壁面



空きスペース利用



地域のアロマコーディネーターの富永さんによる、母子で出来るアロマ・マッサージ講習会



ガラス面もお知らせがいっぱい、にぎやかに



毎日新聞の記者の方へ「おめでた」へのメールを送りました



若いサポーターや利用者のママ達の“頼れるサポーター”のお二人



「私もサポーターとして活躍中！」小さい子のお世話が、とっても上手なあさみちゃん

- 11月 5日 子育て相談日 (芦屋町健康対策課の保健士・栄養士による)
- 11月 11日 空きスペース利用 「ヨガ教室」
- 11月 13日 壁面飾り付け 役員会
- 社協だより「ふれあい」vol.88 掲載
- トヨタ財団地域社会プロジェクト助成金応募用紙提出
- 11月 18日 空きスペース利用「小物づくり講座」
- 11月 19日 住友生命による視察
- 11月 20日 第9回運営委員会
- 11月 25日 空きスペース利用 「ヨガ教室」



遊びに来られた子育てアドバイザーの宇野紀子さんによる、ミニ「身体ほぐし」講座



かわいいみの虫3兄弟・すずきも誇れる秋の深まり…



利用者のママによる親子遊びタイム♪



遠賀町から来られた方も、思わず赤ちゃんを抱っこ！

空きスペース  
の利用



みんなで楽しい「小物づくり教室」

- 12月3日 子育て相談日 (芦屋町健康対策課の保健士・栄養士による)
- 12月3日 宇野紀子さんのお話「免疫力をつけて風邪をひかない方法」(場所 にこりん)
- 12月4日 空きスペース活用「小物づくり講座」
- 12月9日 熊丸みつ子先生講演会「うちの子最高」・人形劇同好会「にっこり」公演  
 <参加者：大人26人、子ども14人> (場所 山鹿公民館)
- ニュースレター No2配布
- 12月18日 米倉けいこ先生講演会「幸せの貯金箱」  
 <参加者：大人21人、子ども7人> (場所 山鹿公民館)
- 12月19日 第10回運営委員会・おつかれさま会  
 子育てアンケート配布
- 12月23日 空きスペース利用 「ヨガ教室」
- 12月25日 朗読テープ作成会議
- 12月22日～1月8日 冬休み (12月23日まではガレージ開閉)



熊丸みつ子先生  
 のド迫力&魅力  
 あふれる講演会



クリスマスツリーに思い思い  
 の飾りつけを楽しみました



心をはぐくむ壁面の数々…



人形劇同好会「にっこり」さんの世界にみんな引き込まれ、楽しく・豊かなひと時でした

<熊丸みつ子先生 講演「うちの子最高」(参加者アンケートより一部抜粋)>

- ◎3億の中からあなたは選ばれて産まれてきたこと、10コの大変が10コの成長、かわいらしさへつながること。子供はダメと言ったことは、その時で忘れてしまっているが、根気よくしつけを続けること、子育てが楽しくできる気がしました。
- ◎自分ができない事は人からもらえばいい、地域の人たちやまわりの人の力をもらって子育てをがんばっていきたい。
- ◎毎日おこってばかりで、子供が寝て後悔の連続、でもイライラしてもいいんだと思えて大分、楽になりました。
- ◎私だけじゃない、みんな悩んでいることが分かり、安心しました。



米倉けいこ先生の講演会



いろんな地域から参加して下さった方々と記念撮影

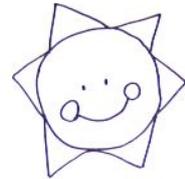
<米倉けいこ先生 講演「ひまわり先生の幸せの貯金箱」(参加者アンケートより一部抜粋)>

- ◎ 子どもに「生まれてきてくれてありがとう」と思っているけど伝えていないなあ…と実感。さっそく子どもに伝えようと思います。
- ◎ 「うれしい」をたくさん増やしていきたいです。私のうれしいは長女が「ママのごはんおいしい」「ありがとう!」と次女の「だいすき」でした。
- ◎ 自分でいっぱいいっぱい、夫や子どもと上手につき合っているか自信がなく、日々の生活に幸せを感じることを忘れていました。お話を聞いて、たくさんの涙が自然とでてきたのに驚きました。何気ない一日に幸せを感じていける自分になりたいと思います。

2009年

- 1月5日～1月7日 ガレージ開閉
- 1月8日～「にこりん」開催～冬時間として10:30～13:30に時間変更
- 1月13日 空きスペース利用 「ヨガ教室」
- 1月14日 子育て相談日 (芦屋町健康対策課の保健士・栄養士による)
- 1月15日 役員会
- 1月27日 空きスペース利用 「ヨガ教室」
- 1月29日 宇野紀子さん「フットマッサージで元気に」(場所 にこりん)
- 1月29日 第11回運営委員会

1月～3月は  
10:30～3:30に  
開催しました。



にこりんのお正月



宇野紀子先生のお話は、とっても癒される～

2009年1月

開催日数9日  
大人62人  
子ども60人

- 2月 4日 子育て相談日（芦屋町健康対策課の保健士・栄養士による）
- 2月 5日 子育てボランティア交流会（鞍手中央公民館）参加
- 2月12日 役員会
- 2月14日 朗読テープ作成会議
- 2月16日～17日 「未来を築く子育てプロジェクト表彰式参加（東京）  
子育てひろば「あいぽーと」見学（施設長 大日向雅美氏～東京都青山）
- 2月19日 第12回運営委員会
- 2月23日 子育て支援センター予定地（旧すぎな園）見学及び  
「にこりん」にて説明会（町より児童福祉課の職員2人）

住友生命「未来を築く子育てプロジェクト」の未来賞 受賞式！！



大日向雅美さんから、子育てボランティア「ハートフル」へ表彰状授与！



旧すぎな園(子育て支援センター予定施設)見学見学



片付け方も工夫がいっぱい！



東京都青山の子育てひろば「あいぽーと」を見学しました！



畑もあって、お外でランチもできて、楽しいお庭。



乳幼児スペース

- 3月 4日 子育て相談日 (芦屋町健康対策課の保健士・栄養士による)
- 3月 10日 空きスペース利用 「ヨガ教室」
- 3月 12日 宇野紀子さんのお話「交流分析」(場所 にこりん)
- 3月 17日 第 13 回運営委員会
- 3月 19日 芳野仁子氏講演会「おもちゃの子育て知恵袋～おもちゃで遊ぼう」  
 <参加者： 大人 18 人、子ども 11 人> (場所 Am 山鹿公民館 / pm にこりん)
- 3月 24日 空きスペース利用 「ヨガ教室」
- 3月 23日～ 春休み
- 4月 6.7.8日 リサイクルバザー (場所 にこりん)



九州大学医学部看護科の実習生が見学に来られました



情報コーナー



芳野仁子先生の「おもちゃの講演会」



にこりんでは人気の親子あそび



にこりん応援グッズママからの提案！



ひとつ、ひとつ手に取って、おもちゃのぬくもりを実感

<芳野仁子先生 講演「おもちゃの子育て知恵袋～おもちゃで遊ぼう」の感想(アンケートから抜粋)>

- ◎おもちゃに対して軽く考えていたつもりはありませんが、思っていてよりもずーっと奥が深く、興味深かったです。娘の年齢と遊ぶ姿、内容がみごとに当てはまり、おもしろくもありました。童心に返り、一緒に遊べるママになる努力が必要だと思いました。
- ◎様々なものが子どもたちのまわりにあふれているだけに、その中から選ぶことが難しいと思ったが、シンプルな手触りのよいもの…と考えていくと、どんなものが子ども達にとってより良くあそべるのか、少し分かってきたような気がした。大人の与え方はとても大切だと思いました。
- ◎木のおもちゃなんて“重たくて大きくてかさばって”と思っていました。ぜひ家にも置いておきたいと思いました。